

道路橋の現状

津市が管理する道路橋 **2,383橋**
(H29.4.1現在)

うち、建設後50年経過する橋梁は
616橋 (全体の約26%)

更に20年経過すると1,893橋(全体の約79%)
に拡大し橋梁の高齢化が急速に進行

津市橋梁長寿命化修繕計画における
津興橋の位置づけ

平成25年3月に橋長15m以上の橋梁308橋を
対象に津市橋梁長寿命化修繕計画を策定

津興橋は最も重要度の高いA-1に該当

橋梁長寿命化修繕の整備方針		重要度			
		高い	低い		低い
		A-1	A-2	B-1	B-2
健全度 ↑ 悪い ↓ 良い	速やかに修繕を行う必要がある	4橋	安全対策を実施済		
	修繕を行う必要がある	25橋	2橋	18橋	3橋
	状況に応じて修繕を行う必要がある	109橋	状況に応じて修繕		
	損傷はあるが修繕を行う必要はない	129橋	当面修繕が不要な橋梁		
		4橋			

※津興橋はここに該当

健全度:修繕を行う必要がある
重要度:A-1 地震時に通行を確保すべき
道路上の橋梁

※『速やかに修繕を行う必要がある』4橋に
ついては、安全対策済

津興橋の現状

昭和5年 伊勢電気鉄道の鉄道橋として築造



現在 重要な幹線道路として利用
(通称:近鉄道路)



津興橋

伊勢湾海洋スポーツセンター
(津ヨットハーバー)

津駅 県庁 津市役所 津新町駅 津なぎさまち

阿漕駅

損傷状態を確認

近接目視調査により
橋全体の損傷
状況を確認

通行の安全性を確認

損傷が著しい桁端部を
対象に、総重量20トン相当
としたダンプトラックを載荷し、
現有耐力調査を実施し
通行の安全性を確認

直ちに車両規制を行う必要はない

整備方針とスケジュール

整備について

- 日当り交通量 約16,000台/日
⇒ 重要な橋梁
- 建設後85年が経過
⇒ 老朽化による橋の損傷が顕著
- 地震時に通行を確保すべき道路上の橋梁
⇒ 耐震対策が必要

架け替えの方針を決定

調査費・用地費120,120千円を
平成29年度予算に計上

今後のスケジュール

年度	内容
平成28年度	橋梁設計・用地補償調査
平成29年度	用地買収
平成30年度	仮橋設置工事
平成31年度	旧橋撤去工事
平成32年度	下部工事(橋脚)
平成33年度	下部工事(橋台)
平成34年度	上部工架設工事
平成35年度	道路改良工事・仮橋撤去工事

仮橋による通行 ↑ ↓ 施工